

令和7年度 椋山女学園大学振興会会報

CONTENTS

- 1 会長挨拶・学長挨拶
 - 2 令和6年度事業報告
 - 3 令和6年度決算及び会計監査報告
 - 4 令和7年度役員・会計監査・評議員・顧問
 - 5 令和7年度事業計画
 - 6 令和7年度収支予算
 - 7 会則
- 【別冊】 令和7年度「父母の集い」開催のご案内

1 会長挨拶・学長挨拶

椋山女学園大学振興会

会長 総見 宗 顯

大学振興会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は椋山女学園大学振興会にお力添えを賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年6月21日に開催されました役員会・評議員会におきまして、私が会長の大役を仰せつかりました。何分にも不行届きではございますが、大学及び大学振興会の発展のため尽力してまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

近年、本学では、学生が主体的に社会課題へ取り組む姿が数多く見られるようになり、その一つひとつに私は深い感動を覚えております。中でも「戦後80年 東山ゾウ物語」のドキュメンタリー制作を通じて、平和への思いを全国に発信した学生たちの姿は、本学の建学の精神を体現するものであり、大変印象的でした。また、情報デザイン学科・文化情報学科では、AI技術を活用したキャンパス探索コンペティションを実施し、柔軟な発想とチャレンジ精神が育まれています。学びと創造力を融合させるその姿勢は、未来に向かう学生たちにとって大きな励みとなっております。さらに、昨年11月に、東海地方の大学としては初となる京都府との就職支援協定が結ばれたことにより、学生のキャリア形成がより広がり、将来に向けた安心の土台となっております。こうした成果は、学生たちの努力と、それを支える教職員や保護者の皆様のお力添えの賜物です。心より感謝申し上げます。

今後、大学振興会では、課外活動補助や就職活動補助など、様々な補助事業を通じて、ご息女のキャンパスライフがより充実したものになるようサポートしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

椋山女学園大学

学長 黒田 由彦

大学振興会会員の皆様におかれましては、日頃より椋山女学園大学に温かいご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

本学は、今年度1,257名の新入生を迎え、全体の在学者数は、4,942名となりました。今年度から本学は独自の取り組みを2つ始めました。第一に、学生が所属する学部・学科を横断する体系的な教育プログラムを設置したことです。現代社会が直面する多くの課題に対して、多職種連携により、社会問題の解決の即戦力となる人材を養成いたします。第二に、高大接続科目等履修制度を新設しました。併設高校生が希望すれば在学中に大学の授業を履修し、入学後は卒業単位として認定する制度です。このようにこれからも本学は変動する現代社会に対応した教育内容の刷新に機動的に取り組んでまいります。

大学振興会は、保護者の皆様と大学の連携を深め、学生たちの成長をサポートする重要な役割を果たしています。保護者の皆様のご協力とご関与の下で、わたくしたち教職員はより良い教育環境を創り上げることができます。学生たちの第一義的なサポーターとして、ご意見やご提案などございましたら、どのようなことでも、是非お教えいただきたいと思います。

皆様と密接に協力しながら、学生に素晴らしい教育環境を提供できるよう教職員一同力を合わせてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 令和6年度事業報告

1. 補助関係

①課外活動補助

クラブ・同好会（合計26団体）に対して総額3,822,830円の課外活動補助を行った。

②課外活動学生傷害補助

支出なし

③大学祭等行事費補助

令和6年10月19日（土）、20日（日）に開催された梶大祭（テーマ『Up To Date』）及び入学式の祝い花等に対して、総額2,074,454円の補助を行った。

④海外留学補助

以下のとおり、総額500,000円の補助を行った。

派遣交換留学：3名に300,000円

中期留学：2名に200,000円

⑤就職活動補助

学生の就職活動補助として、キャリアガイドブック、インターンシップ合同説明会オンラインサイト構築等、総額3,270,536円の補助を行った。

⑥学部補助

各学部で実施する学生生活振興事業に対し、総額2,263,619円の補助を行った。

（内訳）生活科学部	=361,501円
外国語学部・国際コミュニケーション学部	=257,400円
人間関係学部	=310,429円
情報社会学部・文化情報学部	=366,500円
現代マネジメント学部	=392,500円
教育学部	=344,906円
看護学部	=230,383円

⑦事業補助

徳川美術館メンバーシップ、名古屋市美術館学生メンバーズ、Sonoligo Future ゴールドパートナー料、ベストティーチャー賞賞品等に対して総額1,686,770円の補助を行った（名古屋市博物館は閉館中）。

※令和6年度ベストティーチャー：現代マネジメント学部 Quasha Steven Eric（クアシャ スティーブン エリック）准教授

⑧慶弔費

以下のとおり、総額40,000円の補助を行った。

香典：4件

2. 事業関係

①図書、備品等充実

学生生活のより一層の充実に寄与すべく、図書（振興会文庫）、車いす、ベンチの購入等の補助を行った（総額2,566,699円）。

②卒業記念品の贈呈

卒業生に卒業証書ファイルを記念品として贈呈した（総額905,850円）。

③ 「父母の集い」の開催

令和6年9月21日(土)及び11月2日(土)に「父母の集い」を開催し、総額846,906円の補助を行った。

概要は以下のとおり。

第1回(令和6年9月21日開催)

- ①大学の現状報告
- ②ベストティーチャー賞授賞式
- ③就職事情説明会
(就職事情説明会、教育学部対象就職説明会、看護学部対象就職説明会)
- ④著名人による講演会
講師：安井友梨氏(本学卒業生、ビキニ・フィットネスアスリート)
演題：自分と未来は、変えられる

【参加者：ご父母160名】

第2回(令和6年11月2日開催)

- ①学部別説明会
- ②学部棟・キャンパス見学ツアー(希望者のみ)

【参加者：ご父母203名】

3. 会議関係

○第1回役員会・評議員会

日 時 令和6年6月15日(土) 10:30～13:30

場 所 名古屋ガーデンパレス

出席数 役員・評議員49名

- ①令和5年度会計監査
- ②令和6年度役員選考委員会
- ③旧役員・評議員会

議 事 ○令和5年度事業報告について
○令和5年度決算及び会計監査報告について
○令和6年度新評議員について

(以上、いずれも承認)

④新役員会・評議員会

議 事 ○令和6年度役員・会計監査について
○令和6年度事業計画(案)について
○令和6年度予算(案)について
○その他

・令和6年度「父母の集い」について

(以上、いずれも承認)

⑤懇親会

3

令和6年度決算及び会計監査報告

令和6年度決算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
振興会予算について下記の通り決算しました。

令和7年3月31日
振興会会長 柴田 軒吾

会計監査報告

会計諸帳簿、証憑書類監査の結果
この決算は、正当なものと認めます。

令和7年6月21日
会計監査 川口 江美香
戸澤 浩史
篠原 里絵
鈴木 さをり

令和6年度 椋山女学園大学振興会決算書

収入の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
1、入会金	2,288,000	2,286,000	2,000	
生活科学部	536,000	536,000	0	2,000円×268名
外国語学部	196,000	194,000	2,000	2,000円×97名
国際コミュニケーション学部	4,000	4,000	0	2,000円×2名
人間関係学部	266,000	266,000	0	2,000円×133名
情報社会学部	266,000	266,000	0	2,000円×133名
文化情報学部	0	0	0	2,000円×0名
現代マネジメント学部	412,000	412,000	0	2,000円×206名
教育学部	342,000	342,000	0	2,000円×171名
看護学部	266,000	266,000	0	2,000円×133名
2、会費	20,012,000	20,036,000	-24,000	
生活科学部	4,436,000	4,436,000	0	4,000円×1,109名
外国語学部	392,000	388,000	4,000	4,000円×97名
国際コミュニケーション学部	1,924,000	1,928,000	-4,000	4,000円×482名
人間関係学部	2,664,000	2,676,000	-12,000	4,000円×669名
情報社会学部	532,000	532,000	0	4,000円×133名
文化情報学部	2,360,000	2,368,000	-8,000	4,000円×592名
現代マネジメント学部	3,116,000	3,120,000	-4,000	4,000円×780名
教育学部	2,744,000	2,744,000	0	4,000円×686名
看護学部	1,844,000	1,844,000	0	4,000円×461名
3、その他の収入	0	10,926	-10,926	普通預金利息10,926円
4、前年度繰越金	9,049,143	9,049,143	0	
合 計	31,349,143	31,382,069	-32,926	

支出の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
1、補助費	22,490,000	13,790,209	8,699,791	
(1) 課外活動補助	6,000,000	3,822,830	2,177,170	クラブ、同好会への補助
(2) 課外活動学生傷害補助	50,000	0	50,000	
(3) 大学祭等行事費補助	2,527,500	2,074,454	453,046	大学祭への補助、入学式の祝い花等
(4)-1 海外留学補助(今年度分)	2,500,000	500,000	2,000,000	5名
(4)-2 海外留学補助(翌年度分)	2,500,000	0	2,500,000	※R6年度中に募集する派遣交換留学生の翌年度分の補助額
(4)-3 国際交流活動補助	500,000	132,000	368,000	海外研修科目リーフレット
(5) 就職活動補助	3,300,000	3,270,536	29,464	キャリアガイドブック、インターンシップ合同説明会オンラインサイト構築等
(6) 学部補助	2,527,500	2,263,619	263,881	
生活科学部	557,500	361,501	195,999	消耗品
外国語学部・国際コミュニケーション学部	298,000	257,400	40,600	オーバルS使用料
人間関係学部	337,500	310,429	27,071	ウォータースタンド設置、消耗品
情報社会学部・文化情報学部	366,500	366,500	0	キーレス傘立て、芳香演出装置レンタル
現代マネジメント学部	392,500	392,500	0	オーバルS使用料
教育学部	345,000	344,906	94	消耗品
看護学部	230,500	230,383	117	レインカット(傘のしずく落とし)、消耗品
(7) 事業補助	2,385,000	1,686,770	698,230	徳川美術館大学メンバーシップ学生会員年会費、名古屋美術館学生メンバーズ会費、Sonoligo Future ゴールドパートナー料、ベストティーチャー賞賞品、賞金100,000円 ※受賞者1名 お香典4件
(8) 慶弔費	200,000	40,000	160,000	
2、事業費	5,510,650	4,319,455	1,191,195	
(1) 図書、備品等充実	2,800,000	2,566,699	233,301	振興会文庫、車いす、ベンチ、手摺塗装工事等
(2) 卒業記念品贈呈	910,650	905,850	4,800	証書ファイル1,350冊@610円(税抜)
(3) 父母の集い等開催費	1,800,000	846,906	953,094	9月21日、11月2日実施 アルバイト料、講演謝礼等
3、会合費	1,000,000	985,499	14,501	6月15日大学振興会総会開催費、大学振興会退会者への記念品
4、事務費	1,300,000	1,092,360	207,640	
(1) 印刷費	500,000	490,435	9,565	会報、「父母の集い」案内
(2) 事務諸費	800,000	601,925	198,075	郵便料等
5、大学開学80周年記念事業費	1,000,000	1,000,000	0	R11年度 大学開学80周年記念事業積立 (R7年3月末時点残高:16,006,659円)
6、予備費	48,493	0	48,493	
7、次年度へ繰越	0	10,194,546	-10,194,546	
合 計	31,349,143	31,382,069	-32,926	

4 令和7年度役員・会計監査・評議員・顧問（敬称略）

(1)役員・会計監査（会則第5条第1号による）

会長	總見宗顯（情・メ・2022）	新任	会計	戸澤浩史（外・国・2024）	新任
副会長	山本薫（国・言・2022）	新任	会計	篠原里絵（現・2024）	新任
副会長	足立仁美（国・言・2023）	新任	会計監査	鈴木さをり（生・環・2024）	再任
書記	佐倉聖子（生・管・2023）	新任	会計監査	梅村さつき（現・2025）	新任
書記	川口江美香（人・人・2023）	新任	会計監査	出崎敦子（情・現・2025）	新任
			会計監査	澁谷明美（人・心・2025）	新任

(2)評議員（会則第6条による）

吉岡英里子（生・管・2022）	織田春香（人・心・2021）	二ノ宮裕季子（現・2022）	江崎道代（看・2023）
鈴木陽子（生・環・2022）	西岡美穂（人・心・2022）	渡邊美穂子（現・2022）	竹村佳子（看・2023）
村瀬陽子（生・環・2023）	目時伊久美（人・心・2022）	加藤和香（現・2023）	星野そも子（看・2024）
末武值恵子（生・環・2023）	福谷典子（人・人・2023）	日沖美保（現・2024）	仲田こずえ（看・2025）
中山明希（生・管・2024）	河合幹枝（人・心・2024）	梅村さつき（現・2025）	
牧野佳乃（生・管・2025）	澁谷明美（人・心・2025）	山内由佳（教・保・2022）	
奥田宏子（国・言・2022）	伊藤智恵美（情・情・2019）	太田千裕（教・初・2022）	
松岡聖子（国・言・2022）	棚橋教予（情・情・2022）	吉田潤子（教・保・2023）	
金井珠恵（国・言・2023）	篠田祐子（情・情・2023）	内山ゆかり（教・初・2024）	
前口操（国・言・2023）	石原麻衣子（情・メ・2023）	原田友香（教・保・2025）	
本郷沢美（外・英・2024）	川瀬浩世（情・情・2024）	堀部直美（看・2022）	
筒井美和（外・英・2025）	坪田牧子（情・情・2025）	田邊知恵（看・2022）	

(3)顧問（会則第5条第2号による）

学長	黒田由彦	教育学部長	磯部錦司
生活科学部長	藏澄美仁	看護学部長	杉浦美佐子
外国語学部長	藤岡阿由未	副学部長	五百部裕
人間関係学部長	藤原直子	総務部長	加藤珠穂
情報社会学部長	羽成隆司		
現代マネジメント学部長	植林茂		

5 令和7年度事業計画

1. 補助費

- (1) 課外活動補助
- (2) 課外活動学生傷害補助
- (3) 大学祭等行事費補助
- (4) 海外留学補助・国際交流活動補助
- (5) 就職活動補助
- (6) 学部補助
- (7) 事業補助
- (8) 慶弔費

2. 事業費

- (1) 図書・備品等の充実
- (2) 卒業記念品贈呈
- (3) 父母の集い等開催費

3. 会合費

役員会・評議員会（年1回開催）

4. 大学開学80周年記念事業費（積立）（キャンパス整備に伴う環境整備積立）

6

令和7年度収支予算

収入の部

単位：円

区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比増減	備考（※学生数は5月1日の休学者を除く学生数）
1、入会金	2,524,000	2,288,000	236,000	
生活科学部	506,000	536,000	-30,000	2,000円×(252名+編入1名)
外国語学部	294,000	196,000	98,000	2,000円×147名
国際コミュニケーション学部	4,000	4,000	0	2,000円×編入2名
人間関係学部	308,000	266,000	42,000	2,000円×(152名+編入2名)
情報社会学部	318,000	266,000	52,000	2,000円×159名
文化情報学部	2,000	0	2,000	2,000円×編入1名
現代マネジメント学部	418,000	412,000	6,000	2,000円×209名
教育学部	392,000	342,000	50,000	2,000円×196名
看護学部	282,000	266,000	16,000	2,000円×141名
2、会費	19,536,000	20,012,000	-476,000	
生活科学部	4,344,000	4,436,000	-92,000	4,000円×1,086名
外国語学部	964,000	392,000	572,000	4,000円×241名
国際コミュニケーション学部	1,112,000	1,924,000	-812,000	4,000円×278名
人間関係学部	2,464,000	2,664,000	-200,000	4,000円×616名
情報社会学部	1,168,000	532,000	636,000	4,000円×292名
文化情報学部	1,508,000	2,360,000	-852,000	4,000円×377名
現代マネジメント学部	3,216,000	3,116,000	100,000	4,000円×804名
教育学部	2,792,000	2,744,000	48,000	4,000円×698名
看護学部	1,968,000	1,844,000	124,000	4,000円×492名
3、その他の収入	0	0	0	預金利息等
4、前年度繰越金	10,194,546	9,049,143	1,145,403	
合 計	32,254,546	31,349,143	905,403	

支出の部

単位：円

区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比増減	備考（※学生数は5月1日の学生数）
1、補助費	22,466,000	22,490,000	-24,000	
(1) 課外活動補助	6,000,000	6,000,000	0	クラブ、同好会活動補助5,000,000円 特別活動補助1,000,000円
(2) 課外活動学生傷害補助	50,000	50,000	0	課外活動中の傷害で13日以内の治療費の補助
(3) 大学祭等行事費補助	2,470,500	2,527,500	-57,000	大学祭等の補助、@500円×4,941名
(4)-1 海外留学補助(今年度分)	2,500,000	2,500,000	0	認定留学、中期留学、派遣交換留学生への補助
(4)-2 海外留学補助(翌年度分)	2,500,000	2,500,000	0	今年度中に募集する派遣交換留学生の翌年度分の補助額
(4)-3 国際交流活動補助	500,000	500,000	0	
(5) 就職活動補助	3,300,000	3,300,000	0	キャリアガイドブック、マナー講座講師謝礼等
(6) 学部補助	2,470,500	2,527,500	-57,000	
生活科学部	547,000	557,500	-10,500	500円×1,094名
外国語学部・国際コミュニケーション学部	271,500	298,000	-26,500	500円×(外国語242名+国コミ301名)
人間関係学部	312,000	337,500	-25,500	500円×624名
情報社会学部・文化情報学部	338,500	366,500	-28,000	500円×(情社292名+文情385名)
現代マネジメント学部	404,500	392,500	12,000	500円×809名
教育学部	349,500	345,000	4,500	500円×699名
看護学部	247,500	230,500	17,000	500円×495名
(7) 事業補助	2,475,000	2,385,000	90,000	寮会補助、ベストティーチャー賞賞品・賞金 sonoligo参加費(※1)、徳川美術館(※2)、名古屋美術館(※3) ※1 sonoligo参加費 R6年度…962,500円 R7年度…3,300,000円の内、半額の1,650,000円を振興会予算より支出 ※2 徳川美術館大学メンバーシップ学生会員年会費375,000円 R3年度まで…160,000円学園予算より支出、170,000円振興会予算より支出 R4・5年度…330,000円全額を振興会予算から支出 R6年度…375,000円全額を振興会予算から支出 ※3 名古屋美術館学生メンバーズ R5年度…6月入会157,500円(但し超過利用分清算金149,500円を追加支払) R6年度…210,000円 R7年度…150,000円(但し超過利用分清算金発生の可能性あり。上限40万円) ※ 名古屋博物館大学パートナーシップ加盟料 例年…280,000円 R5年度…リニューアル改修工事のため124,000円(156,000円減額) R6・7年度…休館のため、加盟料発生無し 学生保護者逝去時お香典、自宅火災の際等のお見舞金1万円
(8) 慶弔費	200,000	200,000	0	
2、事業費	6,245,000	5,510,650	734,350	
(1) 図書、備品等充実	3,300,000	2,800,000	500,000	振興会文庫 1,300,000円 備品等(学生課) 1,000,000円 備品等(管財管繕課) 500,000円 備品等(総務課) 500,000円 卒業証書ファイル@750×1,260名 R7年度は11月の1回開催予定 役員会・評議員会開催費、大学振興会退会者への記念品
(2) 卒業記念品贈呈	945,000	910,650	34,350	
(3) 父母の集い等開催費	2,000,000	1,800,000	200,000	
3、会合費	1,000,000	1,000,000	0	
4、事務費	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 印刷費	500,000	500,000	0	会報、「父母の集い」案内、封筒等印刷費
(2) 事務諸費	800,000	800,000	0	郵送料、事務用品購入等
5、大学開学80周年記念事業費 (キャンパス整備に伴う環境整備積立)	1,000,000	1,000,000	0	キャンパス整備に伴い食堂リニューアル等のため、100万円を積み立てる。 (R7年3月末時点残高:16,006,659円)
6、予備費	243,546	48,493	195,053	
合 計	32,254,546	31,349,143	905,403	

第1条 本会は、椋山女学園大学振興会といい、事務所を椋山女学園大学内に置く。

第2条 本会は、椋山女学園大学の教育及び研究振興に協力し、併せて会員相互の連携を計ることを目的とし、諸種の事業を行う。

第3条 本会は、椋山女学園大学に在籍する学生の父母をもって組織する。

第4条 本会には、次の役員、会計監査及び顧問・参与を置く。任期は1年とし、その任務は次のとおりとする。

会 長	1名	本会の会務を総理し、会議の議長となる。
副 会 長	2名	会長を補佐し、会長事故ある場合は職務を代行する。
書 記	3名以内	本会の書記を掌る。
会 計	2名	本会の会計を掌る。
会 計 監 査	4名以内	本会の会計を監査する。
顧 問 ・ 参 与	若干名	会長の諮問に応じ、会議に出席することができる。

第5条 本会の役員、会計監査及び顧問・参与は、次のように定める。

- (1) 役員及び会計監査は、毎年度初めに評議員会において、役員選考委員会によって選出された候補者について承認を得て定める。役員選考委員会は、評議員会から推薦された各学部在籍する学生の父母である評議員各1名をもって構成する。
- (2) 顧問・参与は、会長が必要に応じ、役員会に諮って委嘱する。

第6条 本会に評議員を置く。評議員は、各学部の各学年に在籍する学生の父母のうちから推薦された代表者各1名又は2名とし、任期は子女である学生の在籍期間とする。

第7条 本会は、次の会を持つ。各会は、構成員の2分の1以上出席して成立し、議決は、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。

- (1) 役員会は、本会の運営について審議企画する。役員会は、役員及び会計監査をもって構成し、会長がこれを招集する。
- (2) 評議員会は、予算、決算及び役員承認等重要事項を議決し、会員に報告する。評議員会は、毎年度初めに会長が招集する。

第8条 本会の経費は、入会金2,000円、会費年額4,000円及びその他収入をもって充てる。

2 入会金は入学時の、会費年額は毎学年度の初めの、それぞれ別に指定する日までに、事務所に納入する。

第9条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第10条 本会則の改廃は、評議員の議決を要する。

附 則

本会則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

1 本会則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 改正後の第8条に規定する入会金・会費の金額については、昭和58年以後に入学した学生の父母について適用し、昭和57年度以前に入学した学生の父母については、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和58年6月11日から施行する。

附 則

本会則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、昭和60年度以前に入学した学生の父母に対しては、第8条に規定する入会金・会費の金額について、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、平成13年4月1日から適用する。

附 則

本会則は、平成29年4月1日から適用する。

附 則

本会則は、令和5年6月17日から施行し、令和5年4月1日から適用する。